

常磐精工 株式会社

看板を通じて 安全な社会に貢献

納期
相談
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



ショールームの外観

主な事業内容

看板、ディスプレイ什器、
飛沫防止パーテーションの製造

主な取引先(納入先)

印刷会社、事務機器系商社、
販促物系商社

主な製品

スタンド看板、ディスプレイ什器、
飛沫防止パーテーションなど

業務内容 看板・ディスプレイ什器 国内有数の出荷数

常磐精工は、看板やディスプレイ什器の製造メーカー。昭和39年にベアリング加工業として創業したが、喜井充社長は「下請けだけやっていても駄目だ」と、独自製品の開発へ力を入れ始めた。切削加工技術の強みを生かし、オリジナルのアウトドア用品や葬儀場の供花スタンドを開発。その後、葬儀屋には必ず看板があることに目を付け、現在の事業の柱である看板の製造を始めた。

当時、国内の看板製造業者は、海外からの輸入商品を扱う問屋が主流だった。そこでイチから看板を製造できる体制を構築し、短納期で特注にも対応することで全国に展開。今では、年間3万台以上を生産して国内有数の出荷数を誇る。

強み 高品質な製品を低価格、 効率良く短納期で提供

新製品の企画からデザイン、設計、製造、販売まで一貫体制を整える。設計は3次元CADを活用し、標準化している。また自社オリジナルの部品や設備、生産計画と受発注システムを連携した独自の生産管理システムで、

「無駄なものを作らず、高品質かつ高効率で作れる」と喜井社長は胸を張る。結果的に特注品でも短納期、低価格で提供でき、国内で高い競争力をもつ理由となっている。

販売では、約1,000社の卸売業者と直接取引を行い、全国の飲食店、商業施設、教育施設、公共交通機関のあらゆる業界の販売網をもつ。顧客のニーズを取り入れた新商品開発は3カ月に1回のペースで行っている。

社会貢献 社会への貢献、看板が ストレッチャースタンドに変形

東日本大震災をきっかけに、「看板を通じて社会に貢献できる製品が作りたい」という喜井社長の思いから、救護器具兼用看板「サポースタンドサイン」を大阪府立大学と共同で開発した。普段は看板として使用でき、緊急時は工具不要で30秒でストレッチャースタンドに変形させることができる。部品には、オリジナルの断面パイプを使用する。一般的なアルミパイプの7倍以上の強度を持ち、手動車椅子のJIS規格「JIS T 9201」に基づいた強度試験をクリアした。けが人の運搬や物資の運搬にも活用でき、大学や介護施設、官公庁を中心に導入が進んでいる。

社長あいさつ



代表取締役
喜井 充さん

当社は「看板づくりを通して、便利で安全な社会に貢献する。」をミッションに掲げています。創業当時から築き続けてきたメーカープライドに懸け、常に今、最高だと誇れるものを作り続ける「Make the best」をモットーにする、ものづくりの会社です。

主な保有設備

- アングル組立加工システム
(有効加工範囲1,200×1,700mm)
レザック製
- ボール盤NC
(1軸方向加工2,000mm)
富士機工製
- パネルソー
(切断加工長1,850mm)
シンクス製



住 所 / 〒591-8001
堺市北区
常磐町3-19-3
TEL / 072-255-1287
FAX / 072-255-1384
創 業 / 昭和41年8月
設 立 / 昭和42年2月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 17名



ショールームの内観



工場内部の風景



<https://www.tokisei.co.jp/>